



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)  
2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)  
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

# 週報

第442回例会6月12日(火)AM 7:30~8:30 オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 木村満義 金山土洲 ■点鐘: 坂井光蔵 ■ロータリーソング: 我等の生業
- ゲスト: 静岡第7分区ガバナー補佐 石間幹三様 同運営幹事 藤井 一様 同事務局長 町田米男様
- ビジター: 浜松RC 田畑隆久様

## 会長挨拶

先日6月1日(金)に浜松西ロータリークラブの35周年記念例会という事でお招きいただき、出席して参りました。その中の記念講演として、動物写真家の飯島正広氏の話がありました。インドネシアや、マダガスカルをはじめとする各地で、森林伐採が進み土地が荒れ、そこに住んでいる動物の生態系が崩れ、多くの動植物が絶滅に追い込まれているという事でした。それを聞き、我々に何かできないか、ロータリークラブとしても貢献できる事は無いのだろうか、と思いました。日本は大量の資源を輸入し、消費しています。また、多くの製品を輸出しています。ロータリーは行政と直接関わりはありませんが、国家の外交戦略としても必要であり、国や企業、NGO等とも連携して多層的な支援をする必要があるのではないのでしょうか。アジアやアフリカ、中南米の国々へ地道な国際貢献を行うことにより、日本人観を他国の人々に理解していただけるのではないかと思います。

## ガバナー補佐挨拶

ガバナー補佐としての公式訪問はこれで4回目で最後となります。5点程みなさまに御礼と若干のお願いがあります。

- ・私の次のガバナー補佐は浜松ハーモニークラブの安間道子様です。2620地区で女性のガバナー補佐は初めてです。おおいに盛りたてていただきたいと思っておりますので、よろしく願います。
- ・2月22日のIMにはたくさんの参加ありがとうございました。当日は福島の物産販売をやりましたが、完売して、売上げが78万円、さらに注文分は600万を超えたということです。本当に喜んでくれました。
- ・会員増強につきましては、このクラブは順調で4月末時点の12名増強は2620地区でトップです。6月末に退会者がで易いのでできるだけ防いでください。
- ・東北への寄付金が4月19日時点で120万7千円が送金されました。最後のひと踏ん張りのご協力をお願いします。
- ・交換留学生ではこのクラブのリビーさんに大変お世話になっております。今、私の家にホームステイして浜名高校3年生として自転車通学しています。来日して10ヶ月ですが、すでに日本語がペラペラです。

## 幹事報告

- (1) 本日は第7分区の石間ガバナー補佐、藤井地区運営幹事、町田事務局長にお越しいただいております。今年度最後の公式訪問です。1年間ありがとうございました。
- (2) 今年度も本日を含め例会はあと3回となりました。次週は、1年間クラブの為に尽力いただきました理事、役員、部会長の皆様より退任のご挨拶を頂きます。そして最終例会は、夜間例会で100%出席例会となっております。皆様で楽しんで締めくり、次年度への第1歩として行きたいと思っております。是非都合をつけるようにしてください。

## スマイル報告

**金山土洲:** 石間幹三ガバナー補佐、藤井幹事、町田事務局長。今日は早朝よりありがとうございました。そして1年間お疲れさまでした。お世話になりお礼申し上げます。

**小澤邦比呂:** 現在当社では毎年8月に社員の子供達とペットボトルのエコキャップを寄贈しています。今年8月までの目標は10万個です。只今約87,000個が集まっています。先日メンバーの中野敬司さん、田淵さんからもご協力いただきました。ありがとうございました。このエコキャップは、800個で一人の子をポリオから救えます。我がロータリークラブもポリオ撲滅を目指しています。私達もまず、少しずつでも自らの出来る事を考えてみてはどうでしょうか。



最後の公式訪問で挨拶される



出席

93名中57名62.11%  
前々回修正出席率84.21



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)  
2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)  
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

## 議事卓話

第 442 回例会  
2012年6月12日  
デジタル推進部会

# 最新スマートフォンの現状と有効な使い方について デジタル推進部会 福地三則さん

おはようございます。デジタル推進部会の福地です。

先週火、水、木の3日間台湾へ行って来まして、台北市で行われた展示会、コンピューターTEXを見学してきました。コンピューター機器の展示会場ですが、4つの会場に分かれていて、全体の面積が東京ビッグサイトの2倍ぐらいの広さがあり、その大きさに驚きます。

また、会場内のディスプレイも非常に洗練されていて、コンパニオンのお姉さんたちもかなりスタイリッシュで、エネルギー感に来場者を惹きつけていました。

会場内には欧米からのお客さんも多くて、日本の最近の展示会で海外からの人を殆ど見ないのを思い出し、少々ショックでした。日本の市場はそれほどに、海外から見て魅力を失っているのかと。

Windows8のスマートフォンバージョンも用意されていて、ソフト開発会社にとっては、過去の資産が生かせたり、ソフト開発のしやすさから、Androidより受け入れやすく、もしかしたら来年以降、AndroidよりWindowsフォーンが販売数量を伸ばす状況が出てくるかもしれません。5、6年後はiPhoneとWindowsフォーンの2つの世界になっている可能性もあります。

ところで、スマートフォンは大きく分けて3種類あります。①アップル社 iPhone ②グーグル社 Androidフォーン ③マイクロソフト社 Windowsフォーンの3種類です。グーグル社のAndroidはコンピュータを動かす基本ソフトの名前です。そのソフトを使って世界中のさまざまな携帯電話製造会社がAndroidフォーンをつくり、それらを携帯電話会社が販売しています。したがって、製造会社や機種毎に機能が違って、ソフト制作もそれに合わせて作りますので、ソフト会社はコストが掛かり大変です。現在のiPhone4Sは秋にはiPhone5に代わりそうです。

2012年度のスマートフォン出荷台数は2790万台で、2015年度は6000万台になると予想されていますが、現在日本国内で、スマートフォンへの乗り換えが予想を超えるスピードで進んでいますので、もっと早く6000万台になるかもしれません。特に中学高校生のような教育現場で、急速にスマートフォンへの乗り換えが進んでいます。

iPadを社内では使っているおもしろな企業を紹介します。

- ・全日空(アテンダントのマニュアルをiPad化。2.1Kgが0.7Kgに)
- ・生活協同組合(会議資料の紙を廃止し、iPadで)
- ・足利銀行(iPadを使って営業、契約件数が3.5倍に)
- ・アサヒビール(営業担当者がiPadを。社内のPCをリモートアクセスで使い、社内にいるのと同じ仕事環境が)

AndroidとiPhoneのそれぞれの問題点と利点です。

- ・Androidの問題点: 電池の持ち時間が短い、使い方が少しわかりづらい
- ・Androidの利点: 色々な会社から出されていて、選択の余地がある。お財布ケータイ機能等。
- ・iPhoneの問題点: マニュアルがないので人に教えてもらうか、本を買う必要が。
- ・iPhoneの利点: 使い方がわかりやすい、電池の持ち時間が長い。

私が最近思うのは、日本が世界に立ち向かうには、会社内での意思決定のスピードを上げる必要があるということです。とくに、上司の方は部下のアイデアや企画が上がってきたら、即座に良いか悪いかを判断し、実行に移して下さい。日本では大企業では1年から2年待たされます。そんなことをしている間に、状況はどんどん変わっていきます。私が経験した韓国のLG電子は1週間で新規プロジェクトにOKを出してきました。このスピード感覚が世界の現状です。どうぞ、早い決断をすることを経営者の方々は常に心がけて下さい。



〒430-7733

静岡県浜松市中区板屋町111-2 オークラアクトシティホテル浜松4307号室

Email info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp/

パワー浜松ロータリークラブ

Tel/Fax 053-452-0800